

多目的ドームの愛称は…

「大館樹海ドーム」に決定

本工事が順調に進み、巨大かつ流麗な姿が樹海ライン沿いにかがえるようになって数カ月。来年夏のオープンを心待ちにしておられるかたも多いことでしょう。あなたはどのように使いますか？

ドームの完成に先立って、来年一月から使用申し込みの予約受け付けも開始されます。真新しいドームをいち早く使ってみたかったら、もう、ちゅうちょはしてはいけませんよ。

ドーム本体の

屋根工事は年内に完了

大館地区多目的ドームの最大の特徴である秋田杉集成材を使用した屋根工事も終盤を迎えています。当初は大型クレーン二台でライト側、レフト側の両方から骨組みをしていました。現在は、屋根工事が進むにつれ屋根の開口部が少なくなり、作業スペースが狭くなってきたことから、大型クレーン一台を使用して赤い側からセンター側方向に骨組みを進めており、進捗も早く、率にして全体の約七〇％に達しています。骨組み工事は十月中に完了し、骨組み工事を後追いする形で屋根の膜張りも行われており、屋根工事は年内に完了する予定となっています。

大館地区多目的ドームで使用する人工芝は、東京ドームや福岡ドームに使用されている人工芝を、より多目的の利用を考慮した形に改良したものに決定されました。

パークセンター及び

公園の整備にも着手

市で整備するパークセンター及び公園など（語らいの森、コミュニティ広場、駐車場等）については、先月までに工事を発注しており、現在はパークセンターの基礎工事のほか、公園整備のための準備工事に着手しています。ドームが完成する来年六月中には完成する予定となっています。

アクセス道路の

整備は終盤へ

市では、大館地区多目的ドームの工事に合わせ、平成六年度からアクセス道路など五路線の整備を進めています。現在は、各路線とも路盤工事、排水工事などの道路改良工事が実施されています。来年の雪解け後に舗装工事を実施し、ドームの完成までには全路線とも完成する予定となっています。

アリーナ使用料金を

日本一安く設定

「より多くのかたに、気軽に使っていただくために」を基本として、アマチュアスポーツや文化的な使用では、鳥根県の出雲ドームや滋賀県の長浜ドーム、長

使用申し込みの予約受け付けは
1月から開始の予定

予約受け付けについては、後日、広報でお知らせします。